



全町連だより

第24号

町内会加入率調査 (R5年1月末)

人口・・・22,714人 加入世帯数・・・4,186世帯
世帯・・・11,452世帯 町内会加入率・・・36.55%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)



町内会アンケート調査報告

2月14日 中標津町役場において各町内会長(代表)及び当会役員19名・事務局関係者6名を含めてアンケート調査の報告会が開催されました。

1月6日に急逝された谷川副会長を偲んで黙とうを行い、佐々木会長の挨拶のあと、アンケート調査の主催者である、なかしべつ町民活動ネットワークの本間代表より集計結果の報告がありました。

内容は、中標津町自治基本条例での町内会の定義についての説明、各町内会で力を入れている自慢できる取り組みの紹介に始まり、会長の年齢・職業・在職年数・役員の男女比・諸費の集め方・定例会の開催頻度・部会活動状況や今後の見直し・加入促進・担い手確保・災害時要援護者支援について等、課題になっている事や苦労している事、改善例等をグラフで細かく表示していただきました。また、今年4月から施行される「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」についての説明をしていただきました。

その後、各テーブルに別れて話し合いを行い、諸費の納めている金額や、総会時の会員参加についての情報交換がありました。

本間代表より、「各町内会の高齢化した会員が、命を削って地域のために活動を行ってきた事、担い手が居なくてどうしたら良いか困っている状況が良く判りました。」次回の話し合いの場にも呼んでくださいたいとの声掛けがあり、今後に結び付く貴重な資料と報告会となりました。



最後に中標津町福祉課から災害時要援護者支援体制について、変更点の説明があり、閉会しました。

あいさつ、みまもり、たすけあい
こどもの安全のみまもりを
こころがけて
いきましよう



「認知症と介護」について...

全町連女性部長 端 裕子

令和4年度第2回の研修会を11月11日に寿宴にて「だいたい舎」代表認知症看護認定看護師の徳永貴之さんを講師にお招きし「認知症と介護について」の勉強会を行いました。

勉強会では、認知症とは注意力、判断力、記憶力、会話能力、知覚、運動能力などの認知機能が以前に比べて低下し日常生活に支障をきたしている状態であり、うつ病、精神疾患、意識障害が原因では無いもの。認知症の診断には問診や診察、CT、MRIで脳の状態を視る、ほかの病気で認知機能低下となる場合もあるので確認する必要があります。あり、ほかの原因



に加齢、遺伝性、高血圧、糖尿病、喫煙、頭部外傷、難聴などもある。認知症は薬では治せないが症状の緩和が可能。認知症を皆が理解して寄り添える社会を作っていく事が大切で、関わり方としては●認知症の人は困った人ではなくその行動の意味を考えてみる●本人の気持ちや希望を聞き受け

止め、代替案を提供する●制限や役割を取らない●普段から会話を心掛け、普段の感覚で関わる●地域包括支援センターに連絡や相談をするなど。また認知症を予防するには健康維持●栄養のバランスを考えた食事●適度な運動●眼鏡や補聴器の使用●昼寝は30分以内●人と交流を楽しむことも大切と話されました。



中標津町議会厚生常任委員との懇談会の開催

1月19日に中標津町議会厚生常任委員会との懇談会を行いました。議会からは松村委員長、後藤議長を含め7人、全町連からは佐々木会長を含めた7名で、減少していく町内会員のことやこれからの町内会のあり方など、2時間程の話し合いを行いました。



町内会員の 割引制度の 実施

地域経済の活性化と町内会員のメリットに繋がる「町内会割引制度」がスタートしました。

町内会員の皆様にはより多くの協賛店様を利用して頂き、お互いにプラスの関係になればいいと思っています。

また引き続き協賛店様を募集していますので、全町連ホームページが事務局に連絡いただけたら幸いです。

電話0153-73-3111

内線220番



全町連
ホームページ

令和4年度 全町連事業活動状況

- 4月 ●全町連「町道における縁石の雑草除去ボランティア」
→各町内会で実施
交通安全旗・防犯旗 希望町内会へ配布
- 5月 ●全町連「定期総会」開催
●全町連「表彰式」開催
●春の一斉清掃 →25 町内会実施
根室自然の番人宣言「ごみゼロの日」に係る清掃奉仕活動への参加 22 町内会 58 名の参加申込みありましたが →前日の雨量が多いため中止
- 6月 ●行政からの各種情報チラシ回覧のお願い →各隣組長・会長へ (6月～3月)
●日本赤十字社活動資金募金運動への協力 →町内会ごとに協力
●全町連「女性部定期総会」開催
- 7月 ●第14回なかしべつ330° 開陽台マラソンへの協力
→大会中止
●安全・安心・どさんて運動「あいさつ・みまもり・たすけあい」(チラシ啓発)
- 10月 ●全町連「女性部研修会1回目」→21名参加
テーマ「大人の発達障がいについて」
●赤い羽根共同募金会への協力 →町内会ごとに協力
●第12回中標津町交通安全協会「高齢者講習会」への参加
●秋の一斉清掃 →11 町内会実施
●道町連「ブロック別町内会活動研究大会【オンライン開催】」→3名参加
テーマ「住民主体の支え合い、安心して暮らせる地域づくり」
- 11月 ●全町連「女性部研修会2回目」→20名参加
テーマ「認知症と介護について」
●全町連「町内会長会議」→24名出席
- 12月 ●全町連「町内会会員カード事業」がスタート
- 1月 ●全町連「新年交流会」→中止
●中標津町議会「厚生常任委員会」との懇談会
→正・副会長・総務部長 7名出席
- 2月 ●全町連「町内会長アンケート調査報告会」を開催
→各町内会長 19名参加

※上記以外に、行政や各種団体から依頼を受け会議に出席している委員・役員は、41団体分61名。
※この他、全町連「正・副会長・総務部長会議」、「役員会」、「広報委員会」、「女性部役員会」を開催。

私たちの町内会 ④2

第二宮下町内会 会長 太田 眞澄

第2宮下町内会は69世帯の会員で活動しております。

町営住宅・道営住宅が多く、住人の入れ替わりの都度入会される住人が減少しております。また、町営住宅の老朽化による会員の他地域への移動も加入率低下の原因となっております。

会の主たる活動は、新年会、5月の風プロジェクト(鯉のぼりの設置)、夏祭り、敬老会です。(現在はコロナ禍のため休止中です。)

活動休止中は、会員家庭に町指定ゴミ袋を配布いたしました。

また、昨年は警察署・消防署・役場・LPガス協会等の行政機関協力のもと、防災訓練を実施、情報伝達訓練、避難訓練、一時救命処置訓練、炊き出し訓練を行いました。警察署から



は、特殊詐欺に対する注意事項の説明を受けました。今後は、老人家庭や一人暮らしの世帯に声かけなどを行ない、安心して暮らせる町内会を目指して活動して行きます。

私たちの町内会 ④3

開陽町内会 会長 齋藤 一美

私たちの町内会は、開陽台の下で4単位会をもって活動しています。

活動内容としては、市街区域を中心とした環境整備、花壇管理、福祉会館の管理がコロナ禍の中では中心となっています。地域の神社、墓園の管理、特に地区牛魂祭(春)、神社祭典秋祭り、家族親睦会(町内会他を含めた)が休止中ですが、盛大にできることを願います。また、高齢化で高齢者世帯が増加しているので見守りなどを強化しているところです。

今後は、開陽台のイベントにも積極的に参加し、自然環境が好きで転入された方も取り込んだ町内会活動が出来ればと思っています。



◇町内会加入は...各町内会役員または全町内会連合会事務局(TEL73-3111内線220)へ申し込みを!